



NPO PTPL “ともいき” 便り No.166

平成 31 年（2019 年）3 月 6 日発行

■啓蟄（けいちつ） 平成 31 年 3 月 6 日から 3 月 20 日までの節気

3 月 6 日（水）から 3 月 20 日（水）までの期間、「啓蟄」の節気となります。啓筒」は字のごとく、「啓」は開く、「蟄」は虫が冬ごもりをするという意味です。土の中で冬を越してきた虫たちが、太陽の暖かさを感じて姿を現すころです。ナズナやハコベ、タンポポ・・・散歩道に春の気配！木の芽もぷっくりふくらみ始めます。

ここ数日、また冬に舞い戻ったような気候が続いています。

福島以西の各地では梅の見ごろを迎え、大勢の見物客でにぎわっています。

私は先週末、しだれ梅で有名な京都伏見区にある「城南宮」に行ってきました。小雨が降ったりやんだりのあいにくの天気でしたが、多くの拝観者が訪れ、雨に濡れて、色鮮やかな紅白のしだれ梅と、緑の苔に落ちた椿の赤い花が色鮮やかでした。

城南宮の神苑「楽水苑」は、『源氏物語』に描かれた 80 種あまりの草木が植栽されていて、「源氏物語花の庭」として親しまれ、季節ごとにいろいろな花の美しさが楽しめる庭園です。

2 月 18 日から 3 月 22 日まで「しだれ梅と椿まつり」が開催されていて、全国各地から多くの拝観者でにぎわっています。

「城南宮」のホームページによると (<http://www.jonangu.com/>)

社殿の西に広がる「春の山」では、150 本のしだれ梅がうすべに色や紅白の花を装い、春の訪れを告げます。「探梅（たんばい）・先初めの梅を探しながら春の訪れを感じる」、「観梅（かんばい）・150 本のしだれ梅が咲き誇る圧巻の景色を觀賞する」、「惜梅（せきばい）・散りゆく様子を惜しみながら桜咲く春を待つ」と移り行くしだれ梅の景色が楽しめます。

梅を通して季節の移り変わりが楽しめる、なんて素敵なことでしょう。改めて自然の恵みに感謝です。

続いては京都のお隣、奈良の話題です。

3月12日（火）は東大寺二月堂で「お水取り」が行われます。3月1日より14日間にわたって行われる修二会（しゅにえ：おこない）の中の一行事。（1200年も続いています）

修二会は東大寺の僧たちが自分の罪や汚れを二月堂本堂の本尊十一面観音菩薩に懺悔し、国家安泰と人々の幸せを祈ります。

この日は本尊に供える霊水で若狭井（わかさい）から汲み取る「お水取り」と、僧が二月堂の回廊で大松明（全長6メートルほどの巨大なもの）を振り回す「おたいまつ」が行われます。

火粉をかぶると幸せになれるとされています。

翌日の3月13日（水）は春日大社で「春日祭」月13日（行われます。大社祭は藤原氏の栄華を反映して盛大に行われ、朝廷からは勅使が遣わされて、京都の葵祭、石清水祭とともに三勅祭（さんちよくさい）といわれました。

祭りでは古式を伝える数々の雅な神事が行われますが、一般の参拝者は参道からの拝観となります。

なお、かつては2月はじめの申（さる）の日に行われたため「申祭：さるまつり」とも言われています。

どちらの祭りも春を告げる歴史ある恒例のお祭りです。

最後に、3月11日（月）は「東日本大震災発災の日」です。東日本大震災が起こって早8年がたちます。

復興庁の発表資料によると2月7日現在、避難者数は約52,000名、47塗装府県1,003の市町村の所在施設に避難されているとのことです。非難されている多くの方々は、もともと住んでいた場所に戻りたい、という気持ちはとても強いと思いますが、現実には厳しいようです。日本は世界有数の地震国、今後も起こるであろう大地震に対し、政府はどのような対策をしているのでしょうか。なかなか具体策が見えてこない気がします。「備えあれば患いなし」、最後は自分の身は自分で守る、という意識を常に持っていることが重要でしょう。

佐藤 誠（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局）

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

新元号。

大化の改新の年（645年）、朝廷は日本で最初の年号を立てて大化元年としました。

そして2019年4月30日をもって今上天皇が退位し、上皇になられ、5月1日には皇太子殿下が新天皇に即位されます。

新元号は、大化元年（645年）から1400年余り、248番目の元号となります。

新元号は4月1日、政府より発表されますが、どのような元号になるのか……。

興味津々、楽しみです。

「はやぶさ2号」。

地球から約3,4億キロ離れた宇宙の小惑星「リュウグウ」に、日本の人工衛星「はやぶさ2号」が着陸。少量の砂や岩を採集し、地球の生命の起源を探る一助にすべく、地球に持ち帰ってくるプロジェクトで湧き上がっています。

（2020年末に帰還予定）

一方、医学面でも「ips細胞」を使った新しい病気治療方法の開発、検討などが脚光を浴びています。

科学・医学両面では、進化、発展、イノベーションが進んできていますが……。

企業においては、以前のような世界をリードする商品がつくられていません。一企業だけで世界に通用する商品をつくることは、もはや難しい時代になってきています。

共に生み出す「ともうみ」の精神をもって、国内外の異業種、同業種とも積極的に交流して、新しく、画期的な商品を生み出せる社会環境をつくってゆかねばならないでしょう。

そのような芽生えが出始めています。期待しましょう!!

「ともいき」「ともうみ」「ともさち」そして「和」、ジャパネスクは国際的な普遍性を持つ、次世代の価値観ではないかと思えるのです。

日本 2019 ジャパネスク

日本の歴史を学ぼう。

「もっと知りたい。これが日本、これも日本。」

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

●3月に入りました。最近はめっきり春めいた気分になる今日この頃です。
この「ともいき便り」も平静では今号を含め、あと4回。平成を惜しむ気持ちと新しい元号への期待が入りまじります。

●日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」 : <http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」 : <http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」 : <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/>

「タピラス」 : <http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」 : <https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話 : 03-6432-5911 F A X : 03-6432-5912 Email : info@ptpl.or.jp